

おはようございます。コロナ禍の中、昨日学年団にとっては、心温まる、大変勇気を持つことができる一幕がありました。詳しくは、6月1日発行の学年通信(破天荒34号)で紹介します。

生徒の皆さんに、その通信を手渡すことができることが叶うように、心から祈ります。私達も、今できること、やるべきことをしっかり取り組んでいきます。

どうぞ、温かい叱咤激励、相生高校教育活動へのご理解、ご支援をお願いできればと思います。

<p><b>破天荒</b> <b>その33-8</b> ～余談編～</p>	<p>本日の 脱三密 対抗は 三眺 を発信します。</p> <p>① 適切な行動と思い行ってきたことを、少し立ち止まって<b>眺めてみる</b></p> <p>② 立ち止まって呼吸を整えたときの景色や音、風に触れる自分を<b>眺める</b></p> <p>③ 立ち止まって見える周囲の人のいまを<b>眺める</b></p> <p>この2か月余り、便利で幸せなのか、不幸なのか悩むことが多くあります。進歩した情報化社会の中で、情報媒体越しに人は繋がることを感じ、そこに頼っています。</p> <p>一方で、当たり前に行われていた授業が、当たり前でなくなったときに、生徒は失いかけていた主体性を少し思い出して、自ら学んでいる姿勢を、同じく情報媒体越しに感じることもできます。</p> <p>頼もしさ、期待、信頼を持ちたい反面、一部の生徒の生活の乱れもまた、同じ情報媒体を通じて送信されてくる時間が見えてしまうと、隠しようのない事実として見えてしまっています。</p> <p>この状態を鑑みたとき、学年の生徒達の様子は結構ワイングラス化しています。</p> <p>3年生、「やらねば！」の注いだワインを受ける側と、「やる気の行き場を見失った」じっと我慢の机に接している側の生徒達の差は、多くの期待を差し引いても、感じてしまいます。</p> <p>学校は、生徒のそんな発信に声を掛けることができる場所であったことを、今更ながら思います。が、その当たり前の日常を「あと数日、数週間」の辛抱で取り戻したいものです。</p>
<p>事務連絡</p>	<p>5月18日(月)に、4度目の郵送を行います。</p> <p>今日、来週一週間の各教科学習内容が、Googleドライブの情報を通じて配信されます。今日必ずみて下さい。保護者の皆さんへ。前回もそうでしたが、生徒に配信している内容の取りまとめをした用紙を、郵送用封筒に入れてあります。ご覧いただければ幸いです。</p> <p>5月30、31日実施予定の6月進研模試について</p> <p>1. 現代会で、休校延長時の日程のため、日程を変更します。ただし、緊急事態宣言における今後の要請が不透明のため、日程は未定。出来る限り、学校での受験の可能性を探りますが、それが可能になった際も、保護者の理解、承諾を得て行う予定です。登校に不安な気持ちを感じる者は、自宅受験も考えますが、何とか、学校で受験をスタートできればと考えています。</p> <p>2. 今週月曜日から始まった新しい学習様式に基づいて、実力養成に励むこと。</p> <p>3. 変更する日程は、確定次第速やかに連絡をするので、Googleドライブを主として、学校のホームページ、マナビジョン等、連絡の見落としがないようにすること。また、保護者とも情報を共有しておくように。</p>